

第 3 回 専門委員会 資料

一般財団法人
岩手理容美容専門学校

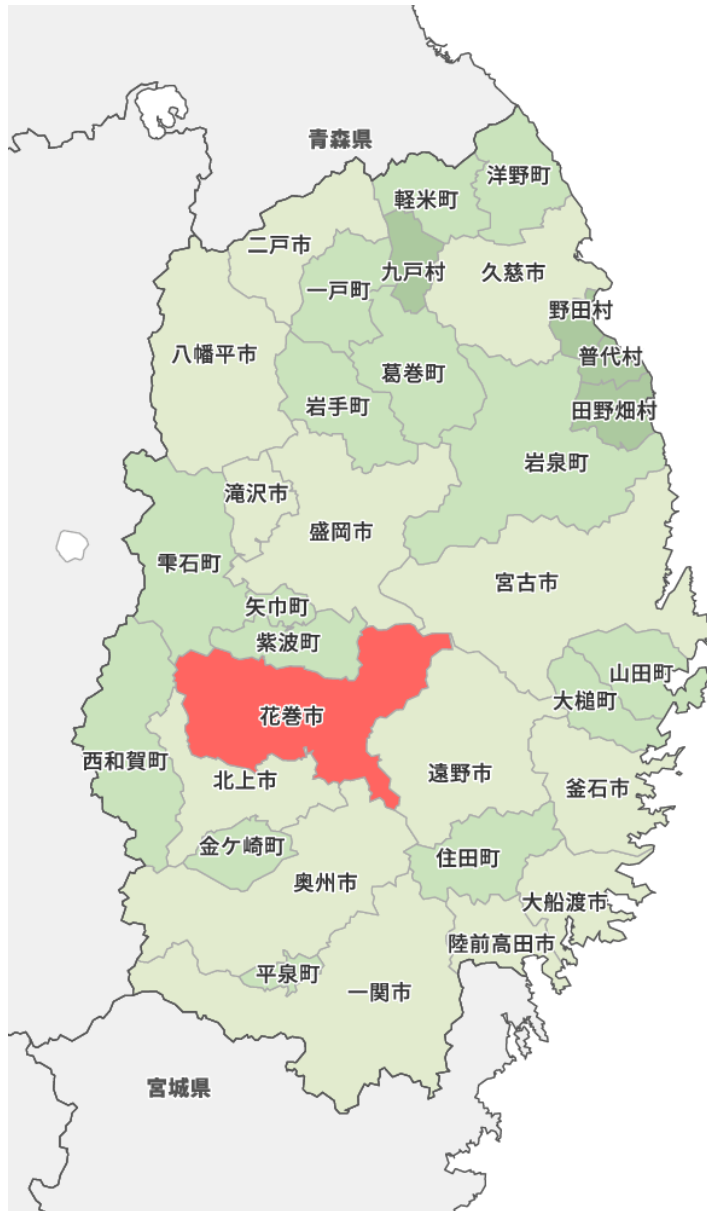
岩手理容美容専門学校 概要

昭和24年 4月	岩手高等美容学校	
昭和25年 3月	岩手高等理容美容学校	(理容科設置)
昭和30年10月	通信課程設置	
昭和54年12月	専修学校認可	
	岩手理容美容専門学校	(校名変更)
	高等課程設置	
平成30年 4月	修得者課程設置	

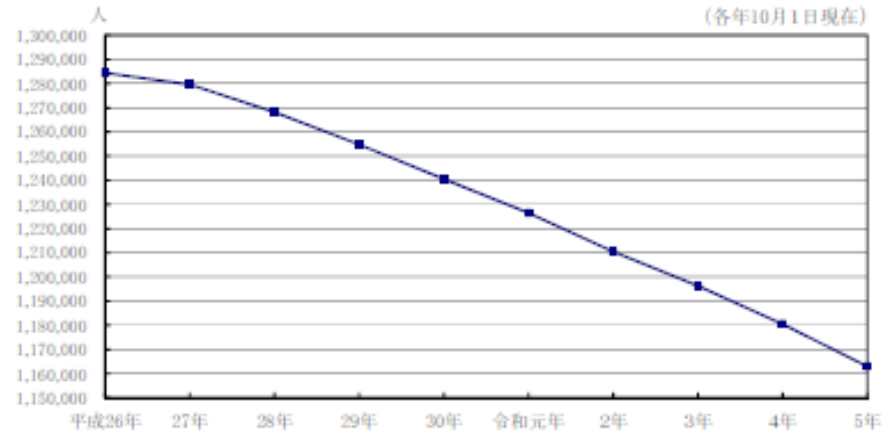
令和6年4月現在在籍者数

昼間課程	理容科	12名	(定員52名、美容修得者含む)
	美容科	75名	(定員120名)
通信課程	理容科	7名	(定員75名、美容修得者含む)
	美容科	20名	(定員135名)

岩手県花巻市



岩手県人口 1,163,024人



岩手県人口移動報告年表
令和5年10月1日現在

高等学校卒業者数

岩手県 9,604人

花巻市 905人

盛岡市 3,239人

令和5年度学校基本調査

岩手理容美容専門学校の特徴

4daysコース

登校は火曜日～金曜日の週4日、土日は提携サロンでアルバイトをするコース

クロスサポート制度

実習授業を複数教員が指導することで、技術習得を底上げし成長が実感できる

実習授業を行う

早期就職指導

学生がどのような理美容師として活躍したいのかを早期に明確化することで、

マッチングの良いサロンへの就職活動を行い、早期離職率を下げることに注力

している

学科・コース紹介

4daysコース 修業年数2年

4daysコースがとにかくスゴイって知ってます!?

火曜日から金曜日までの4日間と、土・日曜日のサロン研修を通じ2年間でいち早くスタイリストとしてスタートできる経験を積み上げます。
サロン研修で得た収入を学費に充てることもできます。



4 daysコースの特色

1

休日はアルバイト

週4日登校、週末はサロンでアルバイトしながら国家試験取得を目指せます! (月曜日は学校・アルバイトともに休み)

2

いち早くスタイリストに

在学時にサロンでアルバイトすることで、短期間でスタイリストデビューをすることが可能です。

3

学費をまかなえる

サロンアルバイトで得た収入で2年間の学費がほぼまかなえます。

4daysコースの流れ

1週間のスケジュール

普通科4daysコースの1週間

月	火	水	木	金	土	日
休み	6時限	3時限 TBコース	6時限		サロン研修 (8時間)	
	+		+			
	1時限		1時限			
放課後(予習・復習・練習)						

普通科総合コースの1週間

月	火	水	木	金	土	日
5時限	6時限	3時限	6時限		休み	
		3時限 TBコース				
放課後(予習・復習・練習)						

※TBコース…トータルビューティーコース
選択コースで希望者のみ受講

スタイリストデビューまで

4daysコース



昼間課程



通信課程



アルバイト収入でほぼ学費がまかなえます

2年間の収支（一例）

費用（岩手理美奨学生制度利用）

入学金 (推薦で半額免除)	10万円
授業料	約139万円
総費用	約149万円

アルバイトによる収入

時給 岩手県の最低賃金（R6.10.27）	952円
1ヶ月（72時間）	6万8,544円
2年間（21ヶ月）	約144万円



アルバイト収入でほぼ学費がまかなえます！

通信課程※との違いは？

1 身分保証

4 daysコースはあくまでも専門学校への進学で、専門学校生徒としての法的身分が保証されます。

2 2年で資格取得

2年で国家資格を取得できます。（通信課程は3年）

3 資格の合格率が高い

通信課程と比べて国家試験合格率が圧倒的に高いです。

4 メリハリのあるスケジュール

就学・就業の ON / OFF がはっきり分かれています（火～金曜日は授業のみ。夏休み、冬休み、春休みもあります。）

※サロンに就職し、働きながら通信課程で資格を取得する就職進学制度

こんな人におすすめ



サロンの仕事を
学生のうちから学びたい



短期間で
スタイリストになりたい



学費の負担を
少なくしたい

①「きめ細かなクロスサポート制」

クロスサポート制だから先生と学生の距離が近い、だから楽しい！

コンパクトな環境で集中して学ぶことができます。

クロスサポート制、担任制で学生一人ひとりに目が行き届くので勉強も技術練習も上達を実感。

学生一人ひとりの個性を伸ばします。

②「学ぶ内容・カリキュラムが魅力」

4daysコース・理容美容ライセンスコース・トータルビューティーコースなど多彩な独自コースとカリキュラム

週4日登校で国家資格取得を目指す4daysコース

3年で理美容免許取得を目指す理美容ライセンスコース

現場のプロが指導するトータルビューティーコース（メイク・ブライダル・ネイル・ヘアカラー・着付け・まつ毛エクステ・色彩全7コース）

③「学費に特長・特待生制度あり」

特待生制度、住宅費支援制度などで学費面もしっかりサポートします！

皆さんが安心して学べる学費サポート制度を整えています。最大19万2千円の学費減免となる特待生制度、二年間で12万円の住宅費支援制度などで学費の面からバックアップします。

また、4daysコースはサロンでのアルバイト収入で大半の学費を賄うことが可能です。

※各制度には条件等あり



④「資格取得」

理容師と美容師の資格取得はもちろんダブルライセンス、メイク、ネイル、着付け、ブライダルも幅広く学びます。

理容師と美容師の仕事は法律でそれぞれが規制されています。ダブルライセンスコース（両方の資格を取得）なら両方の仕事を行うことができ幅広い技術をお客様に提供できます！

トータルビューティーコースではメイク、ジェルネイル、まつ毛エクステ、色彩検定、ブライダル、着付けの資格取得を目指すことができます。

ダブルライセンス、トータルビューティーコースで将来の活躍できる幅を広げて夢の実現をサポートします！

主な目標資格

受験資格が得られる資格

- 理容科/理容師（国）
- 美容科/美容師（国）
- ダブルライセンスコース理容師（国）/美容師（国）

目標とする資格

- JNAネイリスト技能検定（3級）、JNAジェルネイル技能検定（初級）
- JMAメイクアップ検定（2級、3級）
- AFT色彩検定（3級）

⑤「就職支援」

二年間通じての就職指導。姉妹校のネットワークで安心して就職でき、卒業後の業界在職率がとても高く安心です！

一年生から就職セミナーを開始、活躍したい業種分野で一人ひとりの個性を活かし、それぞれの未来にマッチした企業、サロンへの就職を強力にサポートします。また首都圏の大規模校、東洋理容美容専門学校と姉妹校なので、地元就職はもちろん姉妹校のネットワークで首都圏就職も安心です。

このような取組の結果、卒業後の在職率はとても高いので安心です！



特待生 ・ 奨学金

学校独自特待生制度

4 種類 (335,000円～50,000円)

※ 高等学校での成績、欠席数
入学試験結果

学校独自奨学金

住宅費支援制度

ハロートレーニング訓練生

委託訓練事業

奨学金

日本学生支援機構

The image contains three vertical banners. The top banner is yellow and titled '高等教育 学費無償化' (Higher Education Tuition Free) with a blue circle indicating '2020年 4月から' (From April 2020). It states that eligible schools are recognized by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. The middle banner is orange and titled '美容師を目指す社会人の方へ' (For social workers aiming to become beauticians), mentioning the '教育訓練給付金制度' (Education Training Grant System) and a maximum grant of approximately 117 million yen. The bottom banner is blue and titled '東日本大震災で被災された方への 就学サポート' (Study support for those affected by the Great East Japan Earthquake), offering a 50% discount on tuition and facility fees (746,000 yen) for those aiming to obtain a national qualification.

高等教育 学費無償化 2020年 4月から
対象校として文部科学省から認可されました
高等教育修学支援制度 →

美容師を目指す社会人の方へ
教育訓練給付金制度で
最大約117万円
が支給されます
教育訓練給付金制度 →

東日本大震災で被災された方への
就学サポート
入学
授業料
施設費
全て半額!
(746,000円)
国家資格を取得!!
被災者支援制度 →

必修課目と選択課目の履修内容

理容科

科目区分	授業科目	分野
必修科目	関係法規・制度	
	衛生管理	公衆・衛生
		感染症
		衛生管理技術
	保健	人体
		皮膚科学
	香粧品化学	
	文化論	理容文化論
		理容色彩学
		ファッション・フォト
	運営管理	
	理容 技術理論	
	理容 実習	理容技術実習
		実務実習
	計	
選択課目	外国語	
	エステティック	
	カウンセリング	
	メイクアップ	
	ネイル	
	総合技術	
	計	

必修課目と選択課目の履修単位

科目区分	授業科目	授業形態	必修選択の別	単位	時間	1年生	2年生	合計
必修科目	関係法規・制度	講義	必修	1	30	10	20	30
	衛生管理	講義	必修	3	90	60	30	90
		講義	必修					
		講義	必修					
	保健	講義	必修	3	90	60	30	90
		講義	必修					
	香粧品化学	講義	必修	2	60	30	30	60
	文化論	講義	必修	2	60	30	30	60
		講義	必修					
		講義	必修					
	運営管理	講義	必修	1	30		30	30
	理容 技術理論	演習	必修	5	150	90	60	150
	理容 実習	実習	必修	30	900	420	480	900
	計			47	1,410	700	710	1,410
選択課目	外国語	実習	必修	1	30	30		30
	エステティック	実習	必修	1	30		30	30
	カウンセリング	実習	必修	2	60	30	30	60
	メイクアップ	実習	必修	2	60	30	30	60
	ネイル	実習	必修	2	60	30	30	60
	総合技術	実習	必修	12	360	180	180	360
	計			20	600	300	300	600

必修科目授業時計	47	1,410	700	710	1,410
選択科目授業時計	20	600	300	300	600
卒業に必要な総授業時数	67	2,010	1,000	1,010	2,010
総時間数	67	2,010	1,000	1,010	2,010

必修課目と選択課目の履修内容

美容科

科目区分	授業科目	分野
必修科目	関係法規・制度	
	衛生管理	公衆・衛生
		感染症
		衛生管理技術
	保健	人体
		皮膚科学
	香粧品化学	
	文化論	美容文化論
		美容色彩学
		ファッション・フォト
	運営管理	
	美容 技術理論	
	美容 実習	美容技術実習
		実務実習
	計	
選択課目	外国語	
	エステティック	
	カウンセリング	
	メイクアップ	
	ネイル	
	総合技術	
	計	

必修課目と選択課目の履修単位

科目区分	授業科目	授業形態	必修選択の別	単位	時間	1年生	2年生	合計
必修科目	関係法規・制度	講義	必修	1	30	10	20	30
	衛生管理	講義	必修	3	90	60	30	90
		講義	必修					
		講義	必修					
	保健	講義	必修	3	90	60	30	90
		講義	必修					
	香粧品化学	講義	必修	2	60	30	30	60
	文化論	講義	必修	2	60	30	30	60
		講義	必修					
		講義	必修					
	運営管理	講義	必修	1	30		30	30
	美容 技術理論	演習	必修	5	150	90	60	150
	美容 実習	実習	必修	30	900	420	480	900
	計			47	1,410	700	710	1,410
選択課目	外国語	実習	必修	1	30	30		30
	エステティック	実習	必修	1	30		30	30
	カウンセリング	実習	必修	2	60	30	30	60
	メイクアップ	実習	必修	2	60	30	30	60
	ネイル	実習	必修	2	60	30	30	60
	総合技術	実習	必修	12	360	180	180	360
	計			20	600	300	300	600

必修科目授業時計	47	1,410	700	710	1,410
選択科目授業時計	20	600	300	300	600
卒業に必要な総授業時数	67	2,010	1,000	1,010	2,010
総時間数	67	2,010	1,000	1,010	2,010

必修課目と選択課目の履修内容

美容修得者理容科

必修課目と選択課目の履修単位

科目 区分	授業科目	授業 形態	必修選択 の別	単位等	時間数
必修 科目	理容技術理論	実習	必修	4	120
	理容実習	実習	必修	23	690
	小計			27	810
必修 選択 課目	総合技術	実習	必修	4	120
	国家試験対策	実習	必修	3	90
	小計			7	210
合計				34	1,020

1. H29改正の実施状況を踏まえた課題

- ・ 修得者課程の創設

理容と美容の両方の資格を取得したい方にとって、期間、内容も含め大変良い過程となっていると思う。

- ・ 必修座学課目の内容見直し

各課目、理容美容に関連が深い内容に特化したことは大変良い。

- ・ 実習の時間数が増えたことについて

国家試験課題対応のほかサロン技術等の実践的授業への取り組みができる。

またサロンで活躍する技術者の特別講習などを実施することで卒業後に役立つ技術、考え方なども学ぶ機会が増えて学習を深めることができている。

・通信課程の特例の見直しについて

「理容師養成施設の通信課程における授業方法等の基準」については、現行制度が確立した平成10年度より、理容所に常勤で従事している者である生徒については、教科課目の面接授業時間数について、一般の生徒が120単位（600時間）以上のところを60単位（300時間）以上とされていた。

しかしながら、平成29年7月の部長通知で平成39年度までに一般の生徒と同基準とすることとされたところである。

※美容師制度についても同様の取扱い

※令和9年度入学生より一般の生徒と同基準とすることとなっており、現況では一般の生徒と同様の600時間となる可能性が高い。厚労省は、養成施設には平成29年通知で改正する旨の通知を行っているが、サロン側には通知をしていない。このため、養成施設からサロン側に説明しても、一般の生徒と同基準となる根拠が不明確であることから、理解を得るのが困難な状況にある。

(対応上の問題点)

当校の通信課程の生徒は、理美容所に常勤で従事している者である生徒のため、300時間以上の面接授業を実施している

- ・ **養成施設関係**

＜養成施設は定められた基準に従い授業を行わなければならない＞

スクーリング授業時間増加による職員の負担増、教室確保、カリキュラム再編、授業料の値上げ、通信課程の廃止など。

- ・ **通信課程入学者**

授業料負担増、賃金の低下など。

- ・ **サロン関係**

通信生に対する給与の減額、慢性的な人手不足により通信生が面接授業へ出られないことが予想される。

2. 座学と実習の連携

1 年次は基礎的知識と基本技術を中心に授業を行う。その際、座学で目的・手順等を理解して実習授業で繰り返し練習することで基本技術を身に付けさせる。

2 年次は基本技術のレベルアップのための練習、また応用するため必要な座学を学び応用技術を指導している。技術、座学を適切に連携されることで理解を深め技術向上が図れるよう配慮している。

3. 学習状況等に応じた実習の段階的な進め方

① 養成施設内での実習は基礎知識等を理解した上でモデルウィッグ実習を行い、その後相モデルで人頭での実習に移行している。
開始時期は7月～8月。

② 実務実習は基本技術のある程度行い、一年次学年末に行うことでサロン実習で理解が深まるように配慮している。

(例) バックシャンプー

	1 年 次											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
美容技術理論			シャンプー ヘアセッティング									
美容実習			シャンプー ヘアセッティング ウィッグ	シャンプー～ヘア セッティング 相モデル	シャンプー～ヘア セッティング 実技チェック		シャンプー～ヘア セッティング 相モデル	シャンプー～ヘア セッティング 相モデル	シャンプー～ヘア セッティング 期末実技試験			実務実習

シャンプー実習をモデルで行う場合、ヘアセッティング（ブロードライ）まで連動して技術を行うことになるので、美容技術理論、実習ともにシャンプー～ヘアセッティングまでを連動して学べるようシラバスを設定。

シャンプー～ヘアセッティングを繰り返し練習後、実技試験を行い、理論と技術の習得ができた状態で実務実習を実施している。

4. 選択課目の全体デザインの力点

一般教養課目：外国語（英会話、アメリカ人講師）

専門教育課目：メイク、ネイル、エステ、カウンセリング総合技術

※ 一般教養課目と専門教育課目のバランスは良い

一般教養課目は外国語、セミナー等で社会性向上を目指すとともに、業界の実情について講師から教授いただく機会も設けている。

専門教育課目はメイク、ネイル、エステ、カウンセリング総合技術などトータルビューティーも含めた専門性の高い課目構成にしている。

学生が自分自身の将来をしっかりと考える機会を提供するとともに、就職後即戦力となるよう専門教育課目にウエイトを置いている。

5. 実務実習の役割の位置付けと意義

実務実習	受け入れ理美容所	理容所	9 店舗	美容所	3 5 店舗
実務実習	行っている生徒数	理容	7 名	美容	2 9 名

職場を知るという位置づけ。サロンワークに触れることで技術職、接客業としての難しさ、喜び、やりがいについて理解をすることで、技術修得、就職の意識向上に役立てている。

具体的には、校内で行うトレーニング、繰り返し行っている基礎的技術が、現場でお客様にどのように提供されるようになるのかを見たり感じたりすることで、今練習している技術の重要性を理解させ、目的意識や目標をもたせる。同時に実務実習を体験することから現在不足している技術や力量も把握できる。

（１）実務実習の上限（60時間）について

3日間×7時間 21時間実施

内容は施術準備、後片付け、施術補助等

年間上限60時間の設定について特に課題は感じていない。

拡大する場合、実務実習時間を拡大した場合サロンごとに教える内容に大きな差が生まれることが予想される。

また学生が理美容行為を行う場合、顧客の了解の得て行うことになるが、提供できる技術レベル、サービスは限られており顧客満足については難しいと思われる。

また学生管理も、サロンとの関係性の把握は難しく、就職についての偏りや実務実習を人員確保の手段にされてしまう心配もある。

(2) 実務実習の受け入れサロンの確保

①実務実習について目的、内容等を学校からサロンに説明し学生からサロンに連絡を入れ実務実習受け入れのお願いをする。

②実務実習の評価をサロンに依頼し、実習終了後に振り返りを行い、学生指導をしている。

※ これまでの受入れサロンからの希望、また受入れ実績のないサロンには学校から目的、内容を説明し受入れに協力してもらう。

※ 本校ではサロンとの関係性は良好だが、岩手県内他校では受け入れサロン確保に苦労していると聞いている。

6. 校外実習について

選択課目での校外実習について実施はしていない。

また、拡大についても現在は考えていない。

7. 養成段階と就職後の人材育成の連携・接続

文部科学省認可の職業実践専門課程での教育課程編成委員会で業界からの意見を聴き、授業カリキュラムに取り入れている。

就職後はサロンからの講師派遣、就職ガイダンスへの参加など業界と養成施設をつなぐよう取り組んでいる。

8. 少子化の影響

少子化が加速するなか大学全入時代を迎え、養成施設経営はより一層厳しくなっている。

業界と連携し特色を打ち出し努力していきたい。

9. 同時授業に関する特例

同時授業を行っている課目： 関係法規制度
衛生管理
保健
香粧品化学
運営管理
文化論

理容師希望者が少ないため、昼間生・通信生共に実施している。

現状の定員充足率・今後の少子化等を考慮すると、更なる緩和の見直しについて必要性は感じない。